

施設近況(中辺路白百合学園)

「潤いのある暮らし」

今年も、寒い中でも暖かい日が続くことが多く、寒暖の差が大きいので利用者の方々が風邪など引かぬか心配しておりますが、今のところ無事過ごされております。お正月は、三分の程度の人が帰省されましたが、帰省のない方が今年いらつしやいました。年々帰省も面会もなく、不安定になる人がおり、家族と電話での対応をしております。また、長い学園生活で、徐々に高齢化という問題を抱え始めています。

写真は、昨年十二月末に、残った方たちで餅つきを行ったときのもので。つきたてのお餅は「柔らかくてとつてもおいしかった」と好評で、皆喜々としておりました。他は、お正月の鍋を囲んでの食事風景、昨年のクリスマス風景です。クリスマスは、いつも皆さんすぐく楽しみにされ、大いに盛り上がりました。いつも三月頃にインフルエンザが流行ります。ノロも含めて万全の体制で感染症予防に対処しております。早く暖かくなってくれればいいですね。

中辺路白百合学園 施設長 尾崎勝芳



(年末のお餅つき)



(クリスマス風景)



(お鍋を囲んで)

施設近況(白百合ホーム)

「福は内、鬼は外！」

冬季オリンピックが開催され、メダルの話題が飛び交い、全国的には雪の為、大荒れのお天気の内、

ノロウイルスやインフルエンザの流行が毎日の様に報道されており、自施設でも予防の徹底に努めています。来週にはドクターを招いての研修会も予定しています。お陰様で皆さんお元気でお過ごし頂けています。

去る一月下旬に、中辺路中学校の「朗読」サークルの女生徒三名が来訪「モチモチの木」をスライド描写を交えて発表がありデイサービスの皆さんも一緒に楽しみました。



(朗読会風景)

節分には職員が扮した赤鬼・青鬼に「鬼は外！福は内！」「インフルエンザも外！ノロも外！」と大きな声で力いっぱい豆をまき、「恵方まき」を召し上がっていただきました。近隣の早い地域は梅花八分咲、施設周辺も二、三分咲本格的な春の訪れももうすぐです。

二十三年の台風で災害を受けた近くの国道の改修も田辺迄通じている高速道路もなお南に向かって急ピッチで工事が進められています。(泉)



(2月3日節分の日)